

令和3年度 特別の教育課程の実施状況等について

栃木県		
学 校 名	管理機関名	設置者の別
足利市立名草小学校	足利市教育委員会	公立

1. 特別の教育課程を編成・実施している学校及び自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

学 校 名	自己評価結果の公表	学校関係者評価結果の公表
足利市立名草小学校	https://www.city.ashikaga.tochigi.jp/soshiki/a95/	https://www.city.ashikaga.tochigi.jp/soshiki/a95/

2. 特別の教育課程の内容

(1) 特別の教育課程の概要

本市全小学校において、平成15年度より取り組んできた英会話学習の内容と外国語活動・外国語科の内容を関連づけた独自の年間指導計画を作成し、「話すこと」「聞くこと」に特化した指導を行うことで、英語によるコミュニケーション能力の育成を図る。

必要となる教育課程の基準の特例については、「【教育課程特例校】特別の教育課程の実施状況等について（足利市）」を参照。

3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

- 計画通り実施できている
- ・一部、計画通り実施できていない
- ・ほとんど計画通り実施できていない

(2) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- 実施している
- ・実施していない

(3) 自校における評価

- 第1学年からの英会話学習の実施により、英語によるコミュニケーションの基礎的な能力の育成につながっている。校内でALTやEAAと進んで英語で挨拶を交わしている姿をよく見かける。
- 児童の授業の様子から、英会話学習の実施によって、外国語や外国の文化に対する興味・関心が高まっていると思われる。

(4) 学校関係者による評価

【令和3年度の児童および保護者アンケートより】

＜児童＞

- ほとんどの児童が英会話学習の授業が楽しいと答えている。(52/53人)
- 高学年では英検の勉強をしている児童がいる。

＜保護者＞

- 「子ども達は楽しく英会話学習に取り組んでいる」に「よくあてはまる」「あてはまる」と答えた保護者が100%

4. 実施の効果及び課題

- ALTやEAAとの関わりを通して、様々な国の文化や習慣等を自然と学ぶことができている。また、第1学年から英語を耳にしているため、聞き取る力がついてきていると感じる。しかし、英会話学習は楽しいと答えていても、高学年になると会話が複雑になったり英単語が増えたり、質問にすぐには答えられなかったりすることで、苦手意識をもつ児童もいた。

5. 課題の改善のための取組の方向性

- 英会話を毎日しているわけではないので、忘れてしまうことも多い。よって繰り返し練習し使うことが必要だと考える。限られた時間の中での連携が図れるようALTやEAAとの打合せの時間の確保をしていきたい。